



保育の広場

R. 7. 9. 1

那珂こども園



日中はまだまだ暑い日が続きますが、暦の上では秋。

秋は、自然や食べ物、季節の行事など、子どもたちにとっても発見や楽しみの多い季節です。

また、秋といえば「読書の秋」でもありますね。今回は、そんな秋にぴったりの「季節感」や「親子のふれあい」を楽しめる絵本をいくつか紹介したいと思います。

ぜひ、お子さんと一緒に絵本の世界を楽しみながら、秋の深まりを感じてみてくださいね。

乳児（0～1歳）におすすめの秋の絵本



* 【くだもの】平山和子：福音館書店

秋の果物が美しく描かれた名作～ぶどう、りんご、なしなど、リアルな果物の絵が魅力的。

「はい、どうぞ」の繰り返しで赤ちゃんにぴったりです。

* 【やさいさん】tupera tupera:学研プラス

しかけ絵本で秋の野菜を掘り出そう！～「やさいさんやさいさんだあれ？」と畑から野菜を引っ張る仕掛けが楽しい。さつまいもやだいこんなど、秋の野菜も登場。

* 【ごあいさつあそび】木村祐一：偕成社

秋のお出かけにも使えるごあいさつ絵本～動物たちが「こんにちは」などのあいさつをするしかけ絵本。公園など外遊びが増える秋にぴったりです。仕掛け絵本です。

幼児（1～3歳）におすすめの秋の絵本

* 【どんぐりころころ】童謡絵本

親子で一緒に歌える秋の定番～童謡「どんぐりころころ」を絵本にしたもの。

歌いながらページをめくることで言葉のリズムや自然の変化を楽しめます。

* 【もりのかくれんぼう】間所ひさこ：ひさかたチャイルド

秋の森でかくれんぼする動物たちを探そう！～木の葉やどんぐり、秋らしい色合いの森に隠れた動物たちを探す、親子で楽しめる絵探し絵本。

* 【おいもをどうぞ】ひがしなおこ：福音館書店

焼き芋を通して描く、優しいふれあい～動物たちが焼き芋を「どうぞ」と分け合う優しいお話。読み終わった後に焼き芋を食べたくなります。



幼児（3～5歳）におすすめの秋の絵本



*【14ひきのあきまつり】いわむらかずお：童心社

秋の自然の中でのお祭り。家族の協力や季節感が豊かに描かれています。

*【やきいもするぞ】おくはらゆめ：くもん出版

お父さんとやきいもを作る体験が温かく描かれています。おうちでもやってみたくなる一冊。

【おちばいちば】西村敏夫：白泉社

落ち葉で開かれる動物たちの市場。ユーモアと秋の色彩にあふれたお話です。



協力：新富町図書館

【選ぶときのポイント】

*乳児向け（0～2歳）

色がはっきりしていて、繰り返しのある文章がおすすめです。

*幼児向け（3～5歳）

ストーリー性があり、自然や生活とのつながりが感じられる絵本。

季節の行事（運動会・収穫・ハロウィンなど）を取り入れた絵本も、親子での会話のきっかけになります。

【珂こども園クラス別人気の絵本の紹介】

【さくらんぼ組】

「だるまさんが」

*呼びかけるような言葉のリズムに合わせて、身体を動かす楽しさと、優しさを感じる表情で、だるまさんがただ転ぶだけじゃない、という意外性も。自然とスキンシップもとれて笑顔になれる絵本です。

だるまさんが
かぎくいひろし/EC



「いいおへんじ」

*子どもが真似をして「はい！」とお返事する姿が可愛い絵本です。笑顔でおててをあげてくれます。



【もも組】

「かぜビューン」

仕掛けをめくるたびに予想外のキャラクターや物が現れたり、その仕草の面白いところが、子どもたちにうけています。風がビューンと吹いたときに何が起こるかを当てる「当てっこ遊び」も楽しんでいます。



「いちにちおもちゃ」

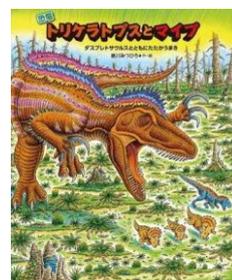
自分がおもちゃになってみたら、どんな感じかな…とおもちゃの大変さをユーモアに表現。大切におもちゃを扱うことや片づけをきちんとすることの大切さを描いています。



【みかん組】

「トリケラトプスとマイプ」

川遊びをしていて、流されてしまったトリケラトプスの子どもをダスプレトサウルスの子、プレトが助けます。しかし、それを見つけた肉食恐竜のマイプがやってきて…。さあ、恐ろしいマイプから逃げ切ることができるか？ 迫力満点の戦闘シーン満載の絵本。



「みんなのおすし」

おすしを食べにやってくるお客さんは、とってもユニーク。おすしのネタがずらりと並んだカウンターの上から、覗き込むように描かれています。ページをめくるたびに現れるお客さんの表情や迫力ある絵に、大人も子どもも引きこまれること間違いなしです。



【ばら組】

「ぼくのお風呂」

こんなお風呂があったらいいな…そんな思いから、いろんなお風呂が登場します。主人公の男の子がユニークなお風呂を考え出して、空の旅へと出かけていきます。



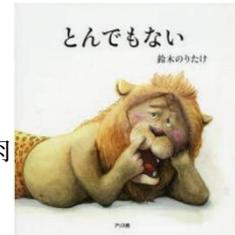
「およぐ」

プールに入ったらゆっくり歩いたり、みんなで水のかけっこをしよう。顔を水につけることや、もぐって浮く練習。そのうち足をバタバタさせると、前へ進む。水を怖がっている子どもも、やってみたくなる絵本です。



「とんでもない」

動物たちがほかの動物をうらやみ、「自分もこうなりたい」と願うものの、実際にその姿になってみると「やっぱり、もとの自分の方が良かったかも」と気づく皮肉な展開と、ユーモラスな絵のタッチが特徴の絵本です。



【うめ組】

「きけんないきもの」

- ・危険な生き物を知り、身を守る力が付く
- ・怖いだけじゃない、生き物の生きる工夫を知る
- ・実生活につながる学びができる



「うちのパパってかっこいい」

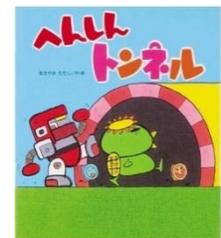
パパは、ゴリラぐらい強くって、カバ君みたいに楽しい。踊りもうまくて歌はピカイチ！くそして、まちゃんみたいに可愛い。坊やとパパの、愛いっぱいユーモラスなお話です。



【さくら組】

「へんしんトンネル」

へんしんトンネルは、遊びながら言葉の面白さを体験できる絵本です。笑いながら、自然に言葉の力が育っていく、楽しくて学びのある一冊です。



「三びきのこぶた」

繰り返しが多く、こぶたたちの違いが面白い絵本です。ちょっぴりドキドキ、でも最後は安心。頑張ることの大切さも伝わり、子どもたちが夢中になれる、笑いドキドキと学びが詰まった楽しい絵本です。



* 読書のあとは、外に出て秋の自然を観察するのも素敵ですね。

* 皆さんの読書タイムが素敵なひとときでありますように。

